

YAMAHA  
PORTATONE PSR-15  
取扱説明書



YAMAHA

---

# ごあいさつ

このたびは、ポータートーンPSR-15をお買い上げいただきましてありがとうございます。PSR-15は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の電子技術を駆使して作りあげた鍵盤楽器です。基礎的な練習のためのメトロノーム機能をはじめ、さまざまな音色やリズム、指1本でも自動伴奏のできるオートベースコードなどによって、初めて鍵盤にふれる方にも簡単に演奏をお楽しみいただけます。

本書では、PSR-15の魅力を充分ご活用いただけるよう、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

---

# もくじ

	ページ
ご使用の前に	2
各部の名称とはたらき	3
まず、好きな音色で弾いてみましょう	5
つぎに、リズムを加えてみましょう	6
伴奏をつけてみましょう 1(シングルフィンガーコード)	7
伴奏をつけてみましょう 2(フィンガードコード)	9
コード早見表	10
楽譜の読み方	13
このような現象は故障ではありません	14
楽譜1 きらきら星	15
楽譜2 ふるさと	16
楽譜3 線路は続くよどこまでも	17
楽譜4 思い出の渚	18
楽譜5 ラバースコンチェルト	19
仕様	21
アフターサービスと保証	22

# ご使用前に

ながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

## 1. 電源について

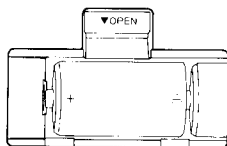
PSR-15の電源は、家庭用コンセントと電池の両方を使用することができます。

### ●電源アダプター〔PA-1〕の接続方法



PSR-15の本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターのPA-1は、AC100V(家庭用コンセント)から、DC 9Vを取り出す電圧変換器ですから、〔DC9V-12V IN〕端子へ接続して電源を供給してください。

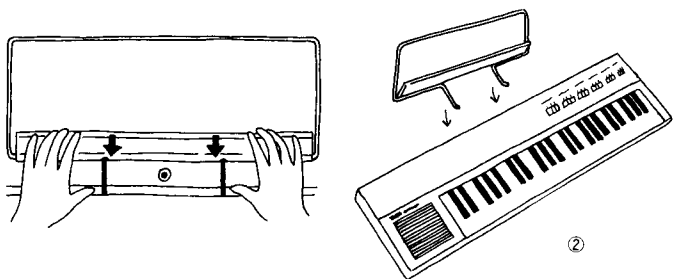
### ●電池の入れ方



まず、本体裏面にあるケースのふたを取ります。単1の乾電池を一列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようにご注意ください。電源スイッチを入れたとき、スイッチの横のパイロットランプが暗くなっていたら、電池がなくなり始めています。全部新しい電池と交換してください。

## 2. 譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、本体の裏面についています。譜面立てを取りはずし、楽器の背面にある2つの穴に、その両端を差しこんで、プラスチックのプレートを手前に倒してご使用ください。



①軽く手をあてて矢印の方向にスライドさせます。

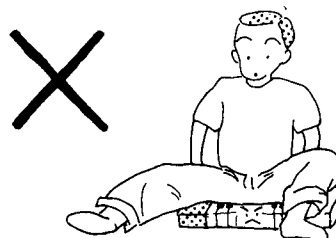
## 3. 取扱上の注意

①直射日光が当たったり、暖房器具のそばなど極端に暑い場所に置くことはさけてください。本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。



②特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。

③過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。



④本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よごれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。

アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。



⑤ご使用後は、必ずパワースイッチを切ってください。

# 各部の名称とはたらき

## リズム(6ページ)

### リズムセレクト

リズムを選ぶレバーです。2拍子、3拍子、4拍子、6拍子とメトロノームがあります。

### テンポレバー

リズムの速さを調節するレバーです。

## オートベースコード(7~9ページ)

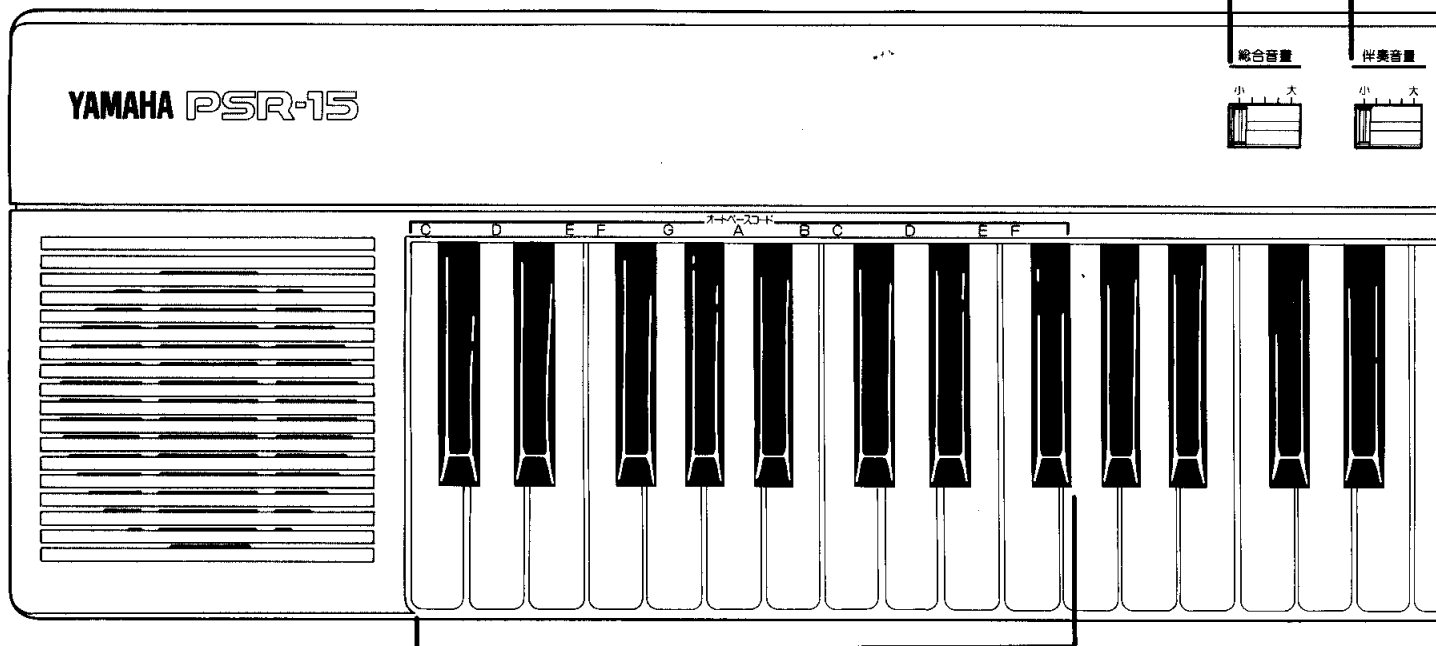
シングルフィンガーコードは指1本で、フィンガードコードは和音をおさえて自動伴奏をさせるレバーです。

### 伴奏音量レバー(6~9ページ)

オートベースコードと、リズムの音量を調節します。

### 総合音量レバー(5ページ)

全体の音量を調節します。



### オートベースコード用鍵盤部(7~9ページ)

オートベースコードを使って自動伴奏をするとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

## HEADPHONES端子

ヘッドホンはHEADPHONES端子に接続します。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーから音がでけませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



### ●オプション (別売付属品)

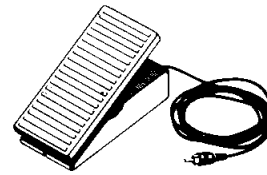
ヘッドホン(YH-50)  
¥5,000

### DC9V-12V IN端子

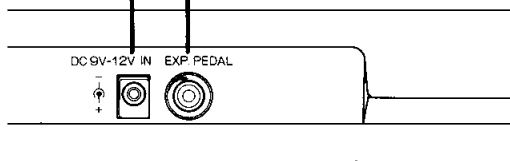
電源アダプター(PA-1)を接続する端子です。(2ページ参照)

### EXP. PEDAL 端子

別売のエクスプレッションペダル(EP-1)を接続する端子です。演奏中、足で自由に音量を調節することができます。



- オプション(別売付属品)  
エクスプレッションペダル(EP-1)  
¥2,400



(本体背面)

## 音色(5ページ)

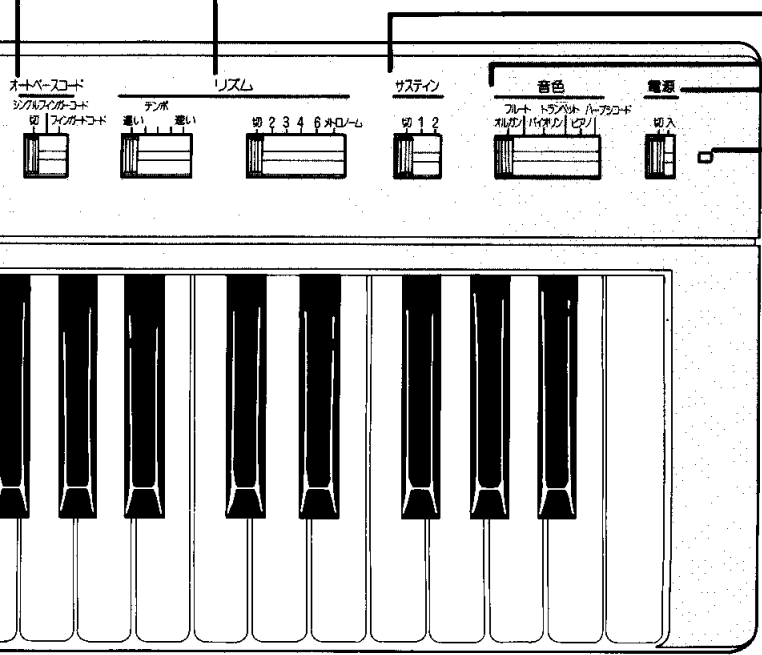
サステイン 音色に自然な余韻をつけるレバーです。

音色セレクター 音色を選ぶレバーです。

電源スイッチ 電源を入れるスイッチ。(5ページ)

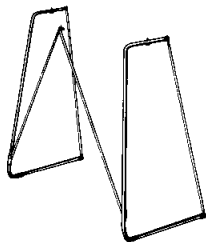
パイロットランプ

ランプが点灯すれば、電気が通じています。また、リズムをセットしている時は、点滅してリズムの速さを示します。(5~6 ページ)

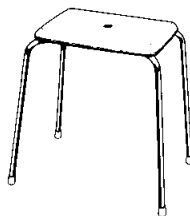


### ●オプション(別売付属品)

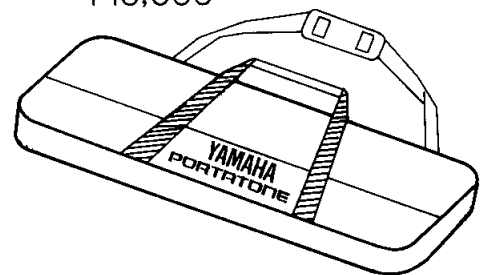
- スタンド(L-2)  
¥6,000



- イス(BC-3)  
¥5,000

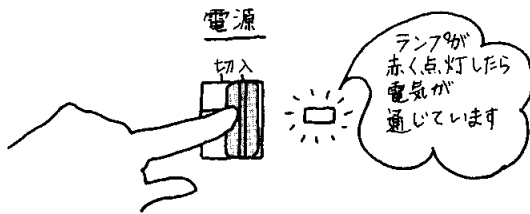


- ソフトケース(S-3)  
¥10,000



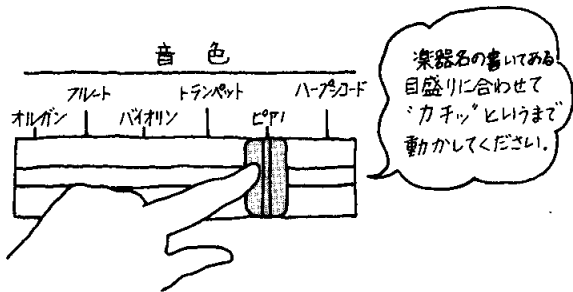
# まず、好きな音色で弾いてみましょう

## 1. 電源スイッチを入れます。

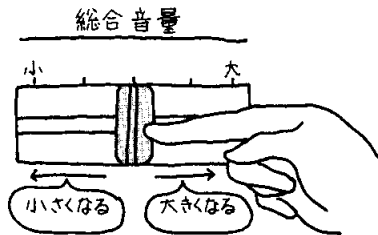


☆電池を使用する場合、電源スイッチの横のパイロットランプが暗くなったら、全部新しい電池ととりかえてください。

## 2. 6つの音色の中から、好きな音色を選びます。

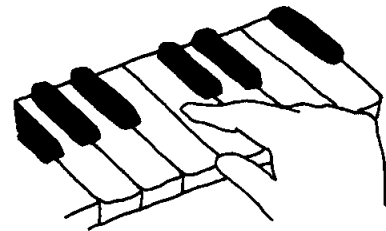


## 3. 総合音量レバーで、音の大きさを調節。



## ●さあ、鍵盤をおさえて!

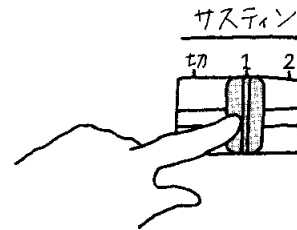
いかがですか? 選んだ音色がでたと思います。いろいろな音色でメロディーを弾いてみましょう。同時に7音まで鳴らせます。



☆シングルフィンガーコードまたはフィンガードコードを使っているときは、オートベースコード用鍵盤部からは、選んだ音色はできません。オルガンまたはピアノの音色で、和音になってできます。(くわしくは7ページ参照)

## 4. サスティン(余韻)を加えてみましょう。

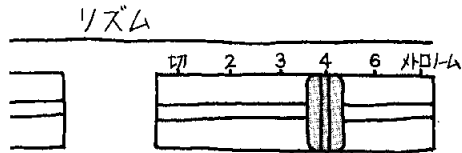
サスティンというのは、音にピアノのような自然な余韻をつける効果です。サスティンをセットすると、音色セレクターで選んだ音色に余韻がつき、鍵盤から指を離れたあとも音が残って、自然に消えていくようになります。



☆サスティン1と2では、2のほうがより長く、余韻が残ります。

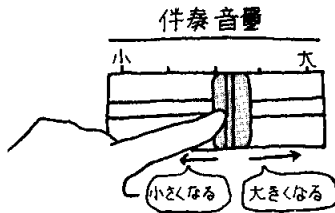
# つぎに、リズムを加えてみましょう

1. 曲に合ったリズムを選びます。  
セットと同時にリズムが鳴りだします。



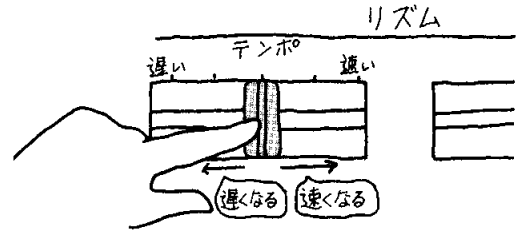
2は2拍子、3は3拍子、4は4拍子、6は6拍子のことです。メトロノームは、指づかいの練習をするときなど、正確なテンポが必要な場合に使います。一定の速さでシンバルの音が鳴りますから、テンポレバーで調節して使用してください。(シンバル音に合わせて、パイロットランプが点滅します。)

2. 伴奏音量レバーで、音の大きさを調節します。

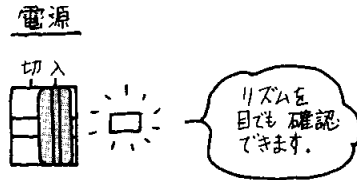


☆総合音量が最小のときは、ごく小さい音になります。

3. テンポレバーで、リズムの速さを調節します。



☆パイロットランプが点滅し、リズムの速さを目で確認することができます。ランプは、1小節単位で点滅します。



4. リズムに合わせて、メロディーを!

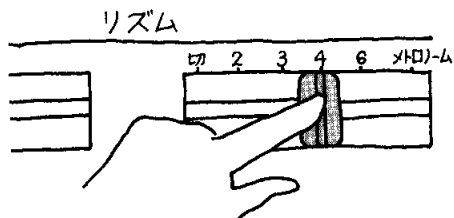
それでは、リズムをつけてメロディーを弾いてみましょう。リズムにのりくいいときは、テンポランプを見ながら“1、2、3、4”と頭の中で数えながら弾くと、うまくいきます。

# 伴奏をつけてみましょう 1 (シングルフィンガーコード)

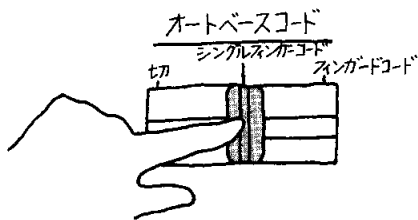
## 指1本で伴奏をつけます

オートベースコード用鍵盤をひとつおさえるだけで、和音とベース音がリズムによってできます。

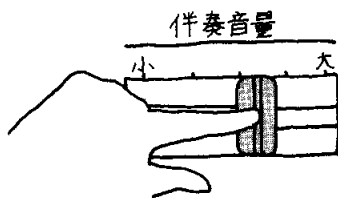
1. リズムをひとつ選び、セットします。



2. シングルフィンガーコードにセット。



3. 伴奏音量をまんなかくらいにセット。



4. 指1本でオートベースコード用鍵盤をおさえます。



和音とベース音がリズムによってできます。また、鍵盤から指をはなしても、同じ伴奏がくり返されます。

5. シングルフィンガーコードで伴奏をつけて、曲を弾いてみましょう。

☆コードを変えるところで、指を鍵盤からはなさずに動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指をはなして、次のコードにうつるようにしてください。

☆リズムとオートベースコードを使って伴奏するとき、伴奏の音色は、音色セクターで選んだ音色に関係ありません。

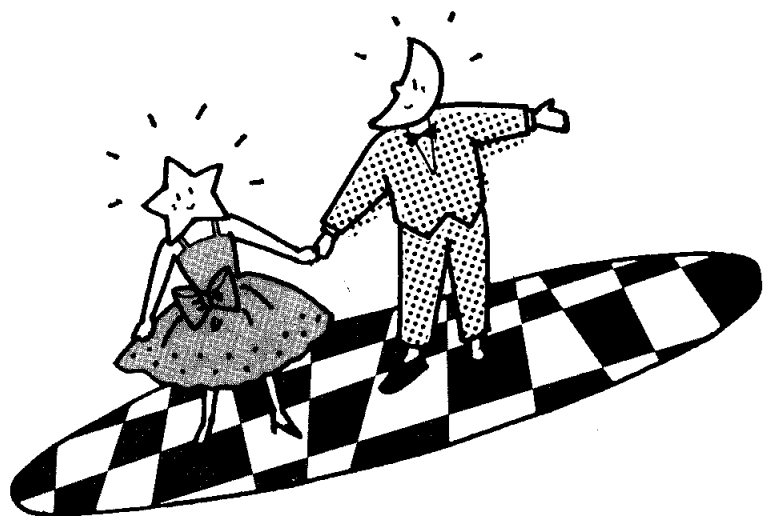
☆オートベースコードを使っているときには、メロディー部では同時に3音までしか鳴らせません。

☆リズムを切にした時、オートベースコードの伴奏は和音が続くもの(持続音)になります。曲によっては、この方が効果的な伴奏ができます。また、リズムが合わせづらいときも、持続音の伴奏で練習するとやさしくできます。

☆メロノムを使用している時、オートベースコードは使えません。

☆オートベースコードを使用している時、リズムは次のようになります。

2拍子	スウィング
3拍子	ワルツI
4拍子	ディスコ
6拍子	ワルツII

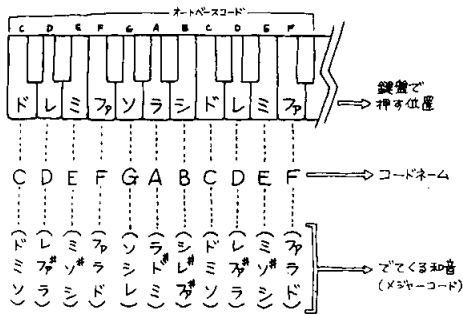




## ●シングルフィンガーコードのだし方

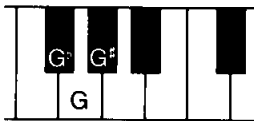
10ページのコード早見表(シングルフィンガーコード)を見ながら、いろいろなコードのだし方を覚えましょう。

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



### #、bのついているコードのだし方。

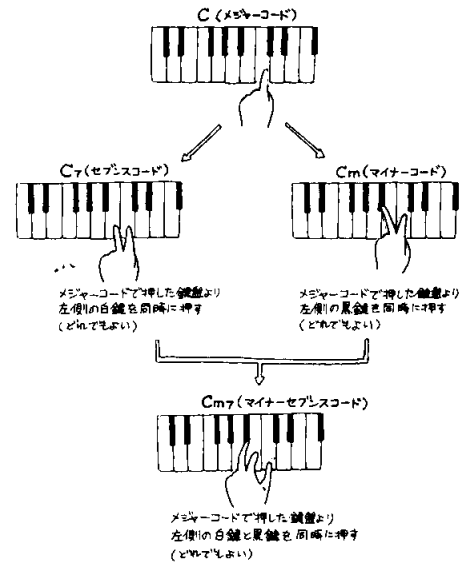
メジャーコード(例えば[C]や[F]など)の中には、[F#]や[Bb]のように#(シャープ)やb(フラット)のついているものがあります。この#、bは、音符についている場合と同じように、半音上げる(#)、半音下げる(b)のように指示する記号です。



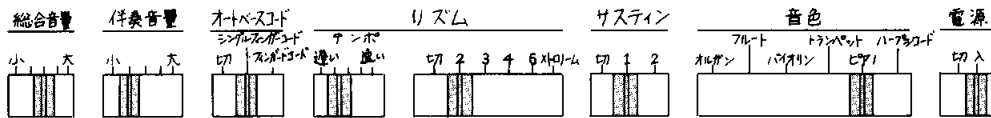
#がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵をおせば、#・bのついたコードがだせます。

## セブンスコード、マイナーコードのだし方。

ここで使ったようなアルファベット1文字のコード(C, Dなど)をメジャーコードといいますか、伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時におすことでだすことができます。



## ●シングルフィンガーコードを使って演奏してみましょう。



「幸せなら手をたたこう」

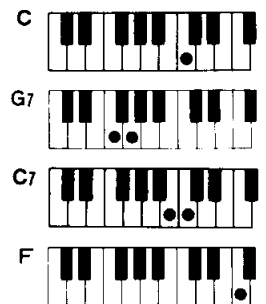
木村和人 訳詞  
アメリカ民謡

♩ = ♩ (スキップするように)

しあ わせならてをたた こう しあ わせならてをたた こう しあ

わせならたいどで しめそうよ ほら みんなでてをたた こう

コードのおさえ方

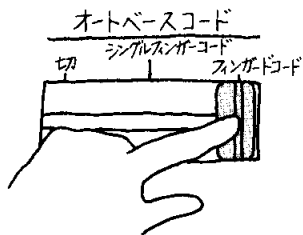


# 伴奏をつけてみましょう 2 (フィンガードコード)

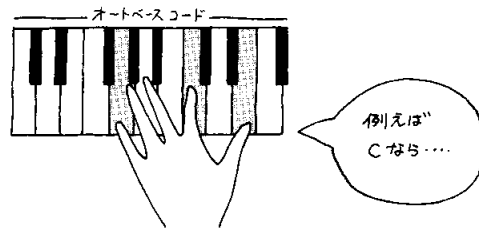
## コード(和音)をおさえて、伴奏をつけます

シングルフィンガーコードとは異なり、自分で和音をおさえると、和音とベース音がリズムにのってできます。

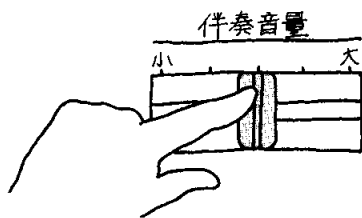
1. リズムをひとつ選び、セットします。
2. フィンガードコードにセット。



4. オートベースコード用鍵盤で和音をおさえます。



3. 伴奏音量をまんなかくらいにセット。



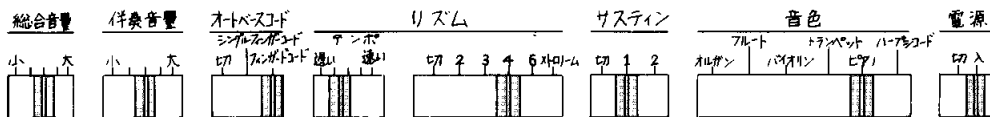
5. フィンガードコードを使って曲を弾いてみましょう。

楽譜のコードネームを見ながら、フィンガードコードの練習をしましょう。

☆リズムとオートベースコードを使って伴奏するとき、伴奏の音色は、音色セレクターで選んだ音色に関係ありません。

☆オートベースコードを使っているときには、メロディー部では、同時に3音までしか鳴らせません。

### ●フィンガードコードで、「オブラディ・オブラダ」を弾いてみましょう。



### 「オブラディ・オブラダ」

Medium Fast

J. レノン & P. マッカートニー作曲

コードのおさえ方




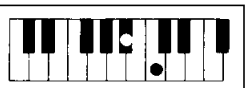
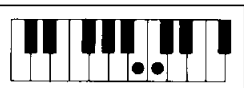
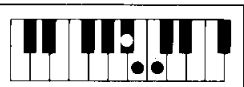
















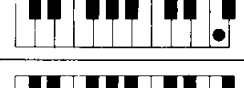
















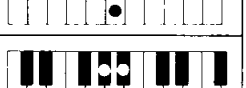






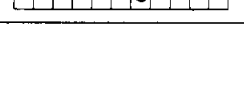

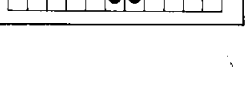
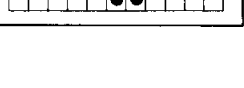
\*コード早見表の基本的なおさえ方とちがいますが、曲の流れでおさえやすいように変えてあります。

© Copyright 1968 for the World by NORTHERN SONGS LTD., London, England  
Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo  
Authorized for sale in Japan only








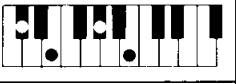



















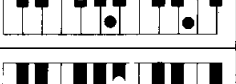














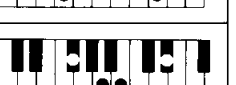
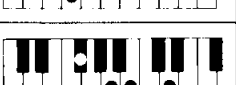
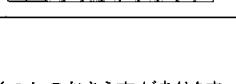
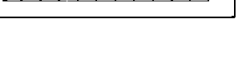
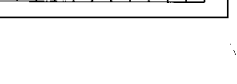
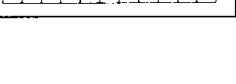
日本音楽著作権協会(出)許諾第8471712 401号

# コード早見表

## シングルフィンガーコード

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D <sup>♯</sup> (C <sup>♯</sup> )		D <sup>♯</sup> m (C <sup>♯</sup> m)		D <sup>♯</sup> 7 (C <sup>♯</sup> 7)		D <sup>♯</sup> m7 (C <sup>♯</sup> m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> )		E <sup>♯</sup> m (D <sup>♯</sup> m)		E <sup>♯</sup> 7 (D <sup>♯</sup> 7)		E <sup>♯</sup> m7 (D <sup>♯</sup> m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		F <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		F <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		F <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		A <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		A <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		A <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
A		Am		A7		Am7	
B <sup>♯</sup> (A <sup>♯</sup> )		B <sup>♯</sup> m (A <sup>♯</sup> m)		B <sup>♯</sup> 7 (A <sup>♯</sup> 7)		B <sup>♯</sup> m7 (A <sup>♯</sup> m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

# フィンガードコード

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D <sup>♯</sup> (C <sup>♯</sup> )		D <sup>♯</sup> m (C <sup>♯</sup> m)		D <sup>♯</sup> 7 (C <sup>♯</sup> 7)		D <sup>♯</sup> m7 (C <sup>♯</sup> m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E <sup>♯</sup> (D <sup>♯</sup> )		E <sup>♯</sup> m (D <sup>♯</sup> m)		E <sup>♯</sup> 7 (D <sup>♯</sup> 7)		E <sup>♯</sup> m7 (D <sup>♯</sup> m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		F <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		F <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		F <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A <sup>♯</sup> (G <sup>♯</sup> )		A <sup>♯</sup> m (G <sup>♯</sup> m)		A <sup>♯</sup> 7 (G <sup>♯</sup> 7)		A <sup>♯</sup> m7 (G <sup>♯</sup> m7)	
A		Am		A7		Am7	
B <sup>♯</sup> (A <sup>♯</sup> )		B <sup>♯</sup> m (A <sup>♯</sup> m)		B <sup>♯</sup> 7 (A <sup>♯</sup> 7)		B <sup>♯</sup> m7 (A <sup>♯</sup> m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

コードにはいくつかのおさえ方があります。

Ex.[C]コードの場合

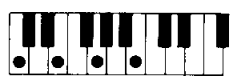


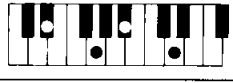








基本のおさえ方



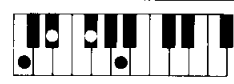




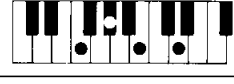


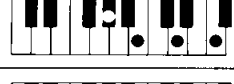



他のおさえ方





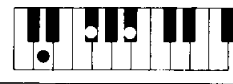









## メジャーセブンスコード

Cmaj7	
D <sup>♯</sup> maj7 (C <sup>♯</sup> maj7)	
Dmaj7	
E <sup>♯</sup> maj7 (D <sup>♯</sup> maj7)	
E <sup>♭</sup> maj7	
Fmaj7	
F <sup>♯</sup> maj7 (G <sup>♯</sup> maj7)	
Gmaj7	
* A <sup>♯</sup> maj7 (G <sup>♯</sup> maj7)	
* Amaj7	
* B <sup>♯</sup> maj7 (A <sup>♯</sup> maj7)	
* Bmaj7	

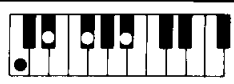
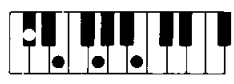
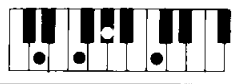









## ディミニッシュコード

Cdim	
D <sup>♯</sup> dim (C <sup>♯</sup> dim)	
Ddim	
E <sup>♯</sup> dim (D <sup>♯</sup> dim)	
E <sup>♭</sup> dim	
Fdim	
F <sup>♯</sup> dim (G <sup>♯</sup> dim)	
Gdim	
* A <sup>♯</sup> dim (G <sup>♯</sup> dim)	
* Adim	
* B <sup>♯</sup> dim (A <sup>♯</sup> dim)	
* Bdim	

## オーグメントコード

Caug	
D <sup>♯</sup> aug (C <sup>♯</sup> aug)	
Daug	
E <sup>♯</sup> aug (D <sup>♯</sup> aug)	
Eaug	
Faug	
F <sup>♯</sup> aug (G <sup>♯</sup> aug)	
Gaug	
* A <sup>♯</sup> aug (G <sup>♯</sup> aug)	
* Aug	
* B <sup>♯</sup> aug (A <sup>♯</sup> aug)	
* Baug	

マイナーセブンス  
フラットティッドフィフスコード

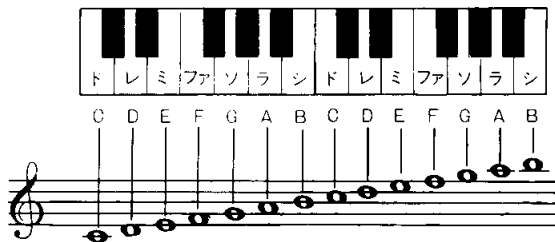
Cm7 <sup>-5</sup>	
D <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (C <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Dm7 <sup>-5</sup>	
E <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (D <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Em7 <sup>-5</sup>	
Fm7 <sup>-5</sup>	
F <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (G <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
Gm7 <sup>-5</sup>	
* A <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (G <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
* Am7 <sup>-5</sup>	
* B <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> (A <sup>♯</sup> m7 <sup>-5</sup> )	
* Bm7 <sup>-5</sup>	

※は転回型、他は基本型です。

# 楽譜の読み方

## ■五線譜の読み方は

はじめに、鍵盤と五線譜の関係を示してみると…



## ■音符と休符の長さは

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全音符	4つ分のばす	全休符	4つ分休む
付点2分音符	3つ分のばす	付点2分休符	3つ分休む
2分音符	2つ分のばす	2分休符	2つ分休む
4分音符		4分休符	
8分音符	半分にする	8分休符	半分休む
16分音符	4等分する	16分休符	4等分する
3連音符	3等分する		

( は 1 を 3 等分)

## ■記号を覚えましょう

記号とよみ方	意味	記号とよみ方	意味
# シャープ	半音あげる	リビート	くりかえし
b フラット	半音さげる	1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと「2」へ。
ナチュラル	もとの音にもどす	D.C. ダカーボ	最初から。 Fine D.C.
タイ	音を続ける	D.S. ダルセーニョ	記号♯から Fine D.S.
スラー	なめらかに	♯ Coda コーダ	くりかえしのあと♯Codaへ。
フェルマータ	その音をのばす		
Tacet タセット	伴奏を休む		
Fine フィーネ	おわり		

# このような現象は故障ではありません

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
音色セクターで選んだ音色とは別の音色がでる。	オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	オートベースコードを使っている場合、オートベースコード用鍵盤部の音色は、選んだ音色と関係ありません。
鍵盤を同時に8音おさえても7音しかでない。また、オートベースコードを使っているとき、メロディー部では、同時に4音おしても3音しかでない。	鍵盤の音は、同時に最高7音までしかでないようになっています。また、オートベースコード使用時は、メロディー部で同時に3音までしかでないことになっています。	先におさえた音が優先します。
オートベースコードの音がでない。または、リズムにのらない。	①オートベースコードスイッチが“切”になっている。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③リズムがセットされていない。 ④リズムがメトロノームになっている。	7～9ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードで伴奏しているときに、鍵盤をおさえる位置を変えてもコードが変わらない。	指を鍵盤からはなさずに動かすと、コードが変わらないことがあります。	鍵盤をおいたらすぐ指をはなすようにすると、うまくいきます。
パイロットランプが暗くなる。	電池がなくなりかかっているため。	全部新しい電池ととりかえてください。

総合音量

伴奏音量

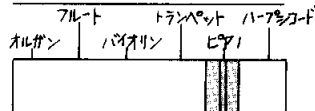
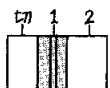
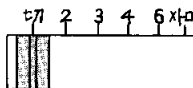
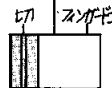
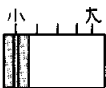
オートバースコード

リズム

サスティン

音色

電源



# きらきら星

武鹿悦子作詞  
フランス民謡

きらきら ひかる おそらの ほしよ

まばたき しては みんなを みてる

きらきら ひかる おそらの ほしよ

日本音楽著作権協会(出)許経第8471712 401号










総合音量	伴奏音量	オートバースコード	リズム	サステイン	音色	電源
小 大	小 大	シンバル スナドラ チェン	テンポ 切 2 3 4 6x10=	切 1 2	フルート オルガン バイオリン トランペット ピアノ ハーモニカ	切 入

# ふるさと

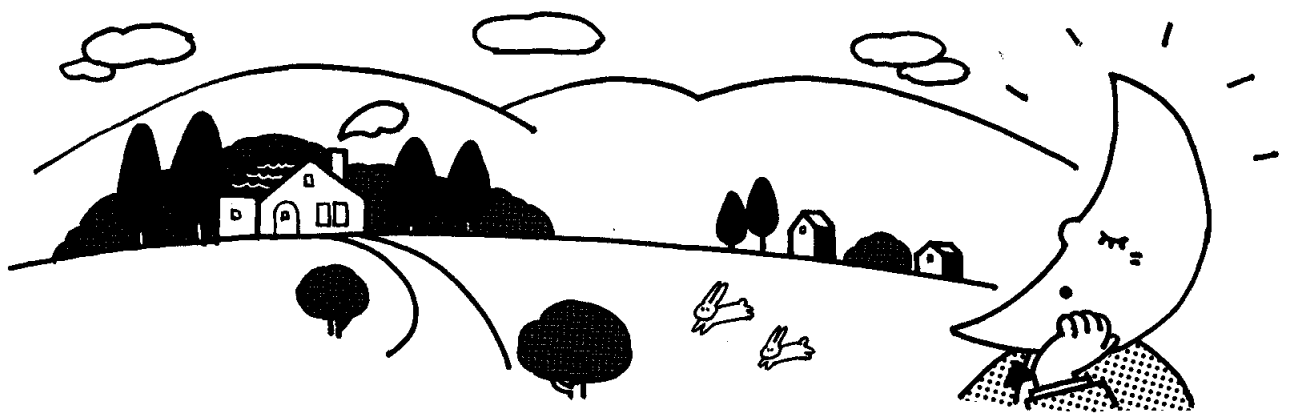
文部省唱歌

C G7 C (C7)  
 う さ ぎ お い し か の や ま  
 F C G7 C  
 こ ぶ な つ り し か の か わ  
 G7 C F C  
 ゆ め は い ま も め ぐ り て  
 C (Am) G7 C  
 わ す れ が た き ふ る さ と

日本音楽著作権協会(出)許第8471712 401号

C 
 G7 
 (C7)   
 F 
 (Am) 

★( )内のコードは、難しければおさえなくてもOK。Cコードのままでもかまいません。



総合音量	伴奏音量	オートバーストド	リズム	サスティン	音色	電源
小 大	小 大	シンバル カ ドラム F ハイ ハイ	切 2 3 4 6 Xホム	切 1 2	フルート オルガン トランペット バイオリン ハーモニカ ピアノ	切 入

# 線路は続くよどこまでも

佐木敏作詞  
アメリカ民謡

C F

せ ん ろ は つ づ く よ ど こ

F C C

ま で も ー の を こ え や ま

C D G7

こ え た に こ え て ー

G7 C F

は る かな ま ち ま で な ぼ く

F E7 F

た ち の ー た の し い た び

C G7 C

の ゆ め つ な い で る ー

日本音楽著作権協会(出)許番第8471712-401号

C	F	D
G7	E7	

総合音量	伴奏音量	オトバスコード	リズム	サスティン	音色	電源
小 大	小 大	シンセサイザー 切	テンポ 切 2 3 4 6x10-M	切 1 2	フルート オルガン バイオリン トランペット ピアノ ハーモニカ	切 入

# 思い出の渚

鳥塚繁樹作詞  
加瀬邦彦作曲

C Am Dm G7

C Am Dm G7 き

C Am Dm G7

C Am Em

Dm A7 1. A7

G7 2. Dm G7

C A7 C

ひ

み を み つ け た こ の な ぎ さ で ひ  
 な も は し る し ろ い ふ ね ひ な  
 と り た た ら ず み お も い だ す こ  
 が い く ろ が み か げ に な び か せ な  
 む ぎ い ろ し た か わ い い ほ ほ わ  
 み に む か っ て さ け ん で み て も も  
 す れ か は し ら な い い つ ま 一 で  
 う か え ら な い  
 も 一 み あ の な つ の  
 ひ

C Dm Am G7

Em A7 A7

©1966 by WATANABE MUSIC PUB. 日本音楽著作権協会(出)許第8471712 401号

<b>総合音量</b>	<b>伴奏音量</b>	<b>オートバースコード</b>	<b>テンポ</b>	<b>リズム</b>	<b>サステイン</b>	<b>音色</b>	<b>電源</b>
小 大	小 大	シングルコード 切 スイングコード 薄い 濃い	切 2 3 4 5 6 7 8	切 1 2	フルート オルガン	トランペット バイオリン	ハーモニカ ピアノ

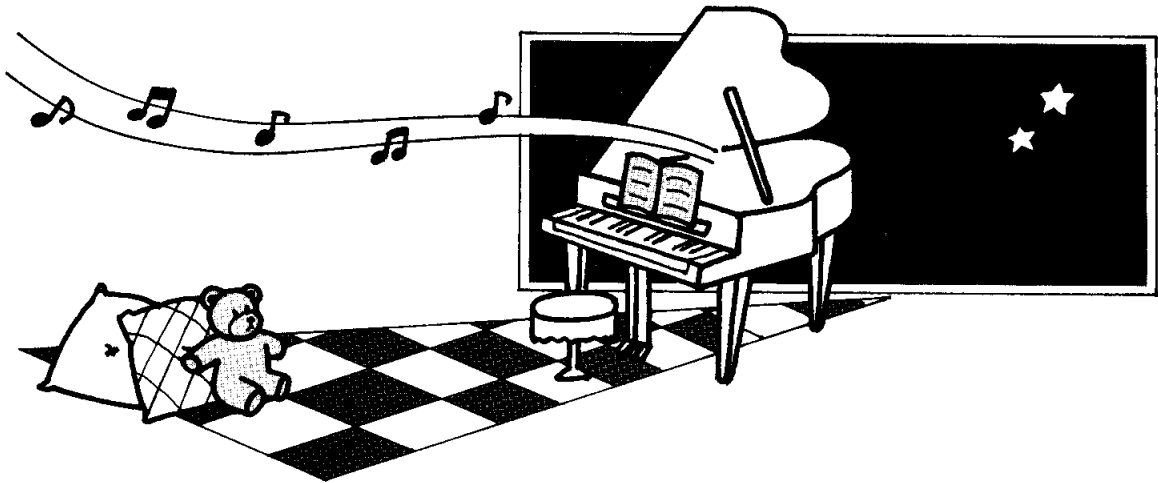
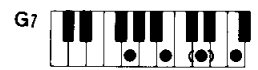
# ラースコンチェルト

J. S. バッハ作曲

★フィンガードコードを使わずに、ピアノのような伴奏にしても雰囲気があります。その時は、1オクターブ低い音域にせずに、楽譜のとおり演奏してください。

Two systems of musical notation for piano. The first system consists of four measures with chords C, C7, F, and C. The second system consists of four measures with chords G7, C, G7, and C. Each measure shows a treble clef staff with a melody and a bass clef staff with chords.

日本音楽著作権協会(出)特許第8471712 401号



## ●鍵盤

一段鍵盤49鍵C1～C5

## ●音色

オルガン

フルート

バイオリン

トランペット

ピアノ

ハーブシコード

## ●効果

サスティン1、2

## ●リズム

〈リズムセレクター(スタートスイッチと共用)〉

2拍子(オートベースコード使用時はスウィング)

3拍子(オートベースコード使用時はワルツI)

4拍子(オートベースコード使用時はディスコ)

6拍子(オートベースコード使用時はワルツII)

メトロノーム

〈コントロール〉

伴奏音量レバー(オートベースコードと共用)

テンポランプ(パイロットランプと共用)

テンポコントロール

## ●オートベースコード

シングルフィンガーコード

フィンガードコード

〈コントロール〉

伴奏音量レバー(リズムと共用)

## ●その他のコントロール

電源スイッチ

総合音量レバー

パイロットランプ(テンポランプと共用)

## ●メインアンプ

1.5W(6Ω負荷)

## ●スピーカー

12cm 6Ω×1

## ●定格電源

DC9V:電源アダプター(PA-I)

単1乾電池6個

## ●付属端子

HEADPHONES JACK

DC9V-12V IN JACK

EXP. PEDAL JACK

## ●消費電力

電源アダプター使用時 5.0W

乾電池使用時 2.1W

電池寿命:通常演奏で連続10時間以上

## ●寸法・外装

本体材質 スチロール樹脂

仕上 アクリルラッカー塗装

間口 863mm

奥行 236mm

高さ 71mm

重量 4.5kg(電池含まず)

## ●付属品

譜面立て

電源アダプター(PA-I)

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1カ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。（日本国内のみ有効）

■保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

## ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。（ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。）

## ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。（楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。）

## YAMAHA電音サービスセンター

全国のヤマハ特約店と下記電音サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

### 〔修理受付および修理品お預り窓口〕

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL(011)781-3621

仙 台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL(0222)36-0249

東 京 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL(044)343-3100

新 潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL(0252)43-4321

浜 松 〒432 浜松市東伊場2-13-12

TEL(0534)56-9211

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

日本楽器流通センター TEL(052)652-2230

大 阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL(06)877-5262

四 国 〒760 高松市丸亀町8-7

TEL(0878)51-7777 (0878)22-3045

広 島 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

TEL(082)874-3787

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-14

TEL(092)472-2134

本社

営業技術課 電音サービスセンター

〒430 浜松市中沢町10-1

TEL(0534)65-1111

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL.0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル  
TEL.03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館  
TEL.06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL.052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL.092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター  
TEL.011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル  
TEL.0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL.082(244)3744

浜松支店 / 〒430 浜松市鍛冶町321-6  
TEL.0534(54)4116

